

【第2報】2026年度尾道市立大学入学者選抜（2025年度実施）からの
変更点について

令和6年5月17日

尾道市立大学 学長 荒井 貴史

令和6年3月29日付で「【第1報】2026年度尾道市立大学入学者選抜（2025年度実施）の変更点（予告）について」を公表しました。

このたび、一般選抜（前期・後期）における大学入学共通テストの利用教科・科目の記載方法について修正箇所がありましたので、公表します。

- 1 教科・科目の記載方法を大学入試センターが示す表記に改める。
 - ・「ICプレーヤーを使用する試験」を「リスニング」に修正する。

2026年度 一般選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等	日程	大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目名				個別学力検査の教科・科目名等		配点 合計				
		教科・科目名				教科・科目名等						
経済情報学部 経済情報学科 入学定員 200人 前期 100 後期 30 Aコース15 Bコース15 その他70	前期 2月25日	国語	『国語』	を1	200	数学	『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ』、 『数学A』、 『数学B』、 『数学C』(注1)	150				
		地理歴史・公民	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	から1	*100		外国語	『英語コミュニケーションⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』	150			
		理科	(『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』									
		情報	『情報Ⅰ』									
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』 『数学Ⅱ、数学B、数学C』					から1	100			
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』					を1	100	調査書(注2)	50	
			から1			200		取得資格・検定等(注3)	25			
				計	700		計	375				
	後期 3月12日	国語	『国語』	を1	100	Aコース 数学	『数学Ⅰ』、 『数学Ⅱ』、 『数学A』、 『数学B』、 『数学C』(注1)	100				
		地理歴史・公民	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	から1	*100		外国語	調査書(注2)	25			
		理科	(『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』					取得資格・検定等(注3)	25			
		情報	『情報Ⅰ』						計	150		
数学		『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』	から1					100	Bコース 外国語	『英語コミュニケーションⅠ』、 『英語コミュニケーションⅡ』	100	
外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から1					100		調査書(注2)	25	
			から1			100		取得資格・検定等(注3)	25			
			計	400		計	150					
日本文学科 入学定員 50人 前期 30 後期 5 その他15 芸術文化学部 入学定員 100人 前期 53 後期 20 その他27 前期 23 後期 15 その他12	前期 2月25日	国語	『国語』	を1	200	国語	『現代の国語』、 『言語文化』、 『論理国語』、 『文学国語』、 『古典探究』	200				
		地理歴史・公民	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』	から1	*100		調査書(注4)	10				
		理科	(『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』									
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』					から1	200	高等学校入学以降の 主体的な取り組み(注5)	10	
		情報	『情報Ⅰ』								計	220
		外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』						から1	200		
						計			500			
	後期 3月12日	国語	『国語』	を1	200	その他	実技		900			
		地理歴史	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	から2	*200 計400		学修計画書(注6)			50		
		公民	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)(備考①参照)、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』					から2	計200	調査書(注7)	20	
		理科	(『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』									計
		数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』							を1	100	実技
外国語		『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』	から2							*100 計200	学修計画書(注6)	
情報	『情報Ⅰ』		20			調査書(注7)				20		
			計	300			計				970	
後期 3月12・13日	国語	『国語』	を1	100	その他	実技	900					
	地理歴史	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)、 『地理総合、地理探究』、『歴史総合、日本史探究』、『歴史総合、世界史探究』	から2	*100 計200		学修計画書(注6)		50				
	公民	(『地理総合/歴史総合/公共』から2)(備考①参照)、 『公共、倫理』、『公共、政治・経済』					から2	計200	調査書(注7)	20		
	理科	(『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎』から2)、 『物理』、『化学』、『生物』、『地学』									計	300
	数学	『数学Ⅰ、数学A』、『数学Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』							を1	100	実技	900
	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』							から2	*100 計200		
情報	『情報Ⅰ』				20				調査書(注7)	20		
			計	300		計					970	

- (備考)
- ① 配点に*印を付してある教科は、選択教科を表します。
 - ② 大学入学共通テスト「外国語」の『英語』についてはリーディングとリスニングの合計得点を換算します。「リーディング」と「リスニング」の配点割合は4：1とします。ただし、リスニングを免除された者については、リーディングの得点のみを換算します。
 - ③ 経済情報学科で大学入学共通テスト「地理歴史・公民」、「理科」、「情報」において2科目以上を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。
 - ④ 経済情報学科後期日程で大学入学共通テスト「数学」を2科目受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。
 - ⑤ 日本文学科で大学入学共通テスト「地理歴史・公民」、「数学」、「理科」、「情報」において2科目以上を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。
 - ⑥ 美術学科で大学入学共通テスト「地理歴史」、「公民」、「数学」、「理科」、「外国語」、「情報」において3教科・3科目以上を受験した場合は、得点の高い科目を合否判定に利用します。
 - ⑦ 美術学科で(『地理総合/歴史総合/公共』から2)を受験し、教科「地理歴史」で他科目を受験している場合は教科「公民」の科目として合否判定に利用します。

【経済情報学部 経済情報学科】

- 注1 個別学力検査の教科・科目名等の教科・科目名「数学」について、『数学Ⅰ』：全範囲、『数学Ⅱ』：全範囲、『数学A』：「図形の性質」「場合の数と確率」のみ、『数学B』：「数列」「統計的な推測」のみ、『数学C』：「ベクトル」のみとします。
- 注2 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「数学」または「英語」における学習成績の状況のうち、数値が高いものを点数化します。
- 注3 本学部が指定する資格・検定等において、取得した資格の分野の種類(英語、簿記、情報、数学)1つにつき、5点を加算します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加算します。(別添1)

【芸術文化学部 日本文学科】

- 注4 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「国語」における学習成績の状況について点数化します。
- 注5 申請書(任意提出)への加算(10点)です。申請書提出がなければ当初配点のみで合否判定を行います。

【芸術文化学部 美術学科】

- 注6 学修計画書は、所定の書式に600字程度の文章で、これまでに取り組んできたことを踏まえ、自分の目標を達成するために入学後何をどのように学びたいかを記述してください。
- 注7 調査書の「指導上参考となる諸事項」に記載された事項から、「主体性を持って学ぶ態度」「多様な人々と協働して学ぶ態度」を総合的に評価します。なお、学校の内外で意欲的に取り組んだ活動等を「備考欄」に具体的に記載してください。

2026年度 学校推薦型選抜の実施教科・科目等

学科	推薦種別	選 抜 方 法 等	試 験 科 目	配点
経済情報	(一般推薦)	大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、基礎学力検査（英語）・小論文・面接・調査書および取得資格・検定等を総合して選抜します。	基礎学力検査（英語）	50
			小論文	50
			面接	40
			調査書(注1)	5
			取得資格・検定等(注2)	25
	(特別推薦) A 尾道市内推薦 B 商業・総合学科 等推薦	大学入学共通テストおよび個別学力検査を免除し、小論文・面接・調査書および取得資格・検定等を総合して選抜します。	小論文	100
			面接	40
			調査書(注1)	5
取得資格・検定等(注2)			25	

注1 調査書の「各教科の学習成績の状況」に記載された「数学」または「英語」における学習成績の状況のうち、数値が高いものを点数化します。

注2 本学部が指定する資格・検定等において、取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点します。
また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。（別添1）

別添1 経済情報学部経済情報学科の取得資格・検定等への加点に関して

次に掲げる資格を取得している者に対し、その証明書を出願書類とともに提出することを条件として加点します。

加点方法は「取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点（最大で4分野取得により20点加点）」します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。高難度資格を複数分野で取得していても、「高難度資格」による加点は5点のみです。

【加点の対象となる資格】

＜英語＞

- ・CEFR（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment：外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠）対照表（資料1）において「B1」以上

＜簿記＞

- ・日商簿記検定試験 3級以上
- ・全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定 1級（全科目合格）
- ・全国経理教育協会 簿記能力検定試験 1級以上（全科目合格）

＜情報＞

- ・ITパスポート、基本情報技術者及びその上位資格
- ・全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 1級（ビジネス情報部門、プログラミング部門のどちらか一方で可）

＜数学＞

- ・日本数学検定協会主催 実用数学技能検定 2級以上

【高難度資格】

＜英語＞ CEFR 「B2」以上

＜簿記＞ 日商簿記検定試験 2級以上

＜情報＞ 基本情報技術者及びその上位資格

＜数学＞ 実用数学技能検定 準1級以上

－資料1－

英語資格・検定試験とCEFRとの対照表

CEFR	ケンブリッジ英語検定	実用英語技能検定（英検）	GTEC（CBTタイプに限る）	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT®テスト	TOEIC L&R + TOEIC S&W
C2	200 - 230			8.5 - 9.0				
C1	180 - 199	1級合格	1350 -1400	7.0 - 8.0	375 - 400	800	95 -120	1845 -1990
B2	160 - 179	準1級合格	1180 -1349	5.5 - 6.5	309 - 374	600 - 795	72 - 94	1560 -1840
B1	140 - 159	2級合格	930 -1179	4.0 - 5.0	225 - 308	420 - 595	42 - 71	1150 -1555
A2	120 - 139	準2級合格	680 - 929		135 - 224	235 - 415		625 -1145
A1	100 - 119	3級合格	260 - 679					320 - 620

- ・この対照表は、「各資格・検定試験とCEFRとの対照表（文部科学省平成30年3月作成）」を基に作成。
- ・表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。
- ・ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定（英検）及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。
- ・実用英語技能検定（英検）は級の合格のみで判断し、英検CSEスコアは用いない。
- ・TOEIC® Listening & Reading Test 及びTOEIC® Speaking & Writing Tests の両方の認定証が必要。TOEIC® Speaking & Writing Tests のスコアを2.5倍にして合算する。IPテスト（団体受験）の成績は活用しない。

新旧対照表

1. 一般選抜（前期・後期）における変更について（変更箇所のみ記載しています）

（1）経済情報学科一般選抜（前期・後期）における実施教科・科目等

日 程	旧（2025年度入学者選抜 （2024年度実施））	新（2026年度入学者選抜 （2025年度実施）以降）
前期 2月25日	取得資格・検定等(注3) 5	取得資格・検定等(注3) 25
	計 355	計 375
	配点合計 1055	配点合計 1075
後期 3月12日	個別学力検査の教科・科目等	
	[A コース]	
	取得資格・検定等(注3) 5	取得資格・検定等(注3) 25
	計 130	計 150
	配点合計 530	配点合計 550
	[B コース]	
	取得資格・検定等(注3) 5	取得資格・検定等(注3) 25
	計 130	計 150
配点合計 530	配点合計 550	

（2）一般選抜（前期・後期）の実施教科・科目等の「備考」等について

学 科	旧（2025年度入学者選抜 （2024年度実施））	新（2026年度入学者選抜 （2025年度実施）以降）
【経済情報 学部 経済情報学 科】	注3 本学部が指定する資格・検定等において、いずれか一つでも取得していれば加点します。	注3 本学部が指定する資格・検定等において、取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。（別添1）

2. 学校推薦型選抜における変更について（変更箇所のみ記載しています）

（1）経済情報学科学学校推薦型選抜における実施教科・科目等

推薦種別	旧（2025年度入学者選抜 （2024年度実施））	新（2026年度入学者選抜 （2025年度実施）以降）
（一般選抜）	取得資格・検定等（注2） 5	取得資格・検定等（注2） 25
（特別推薦） A 尾道市内 推薦 B 商業・総 合学科等推 薦	取得資格・検定等（注2） 5	取得資格・検定等（注2） 25

（2）学校推薦型選抜の実施教科・科目等の「備考」等について

学 科	旧（2025年度入学者選抜 （2024年度実施））	新（2026年度入学者選抜 （2025年度実施）以降）
【経済情報 学部 経済情報学 科】	注2 本学部が指定する資格・検定等において、いずれか一つでも取得していれば加点します。	注2 本学部が指定する資格・検定等において、取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。（別添1）

3. 別添1 経済情報学部経済情報学科の取得資格・検定等への加点に関する変更について（変更箇所のみ記載しています）

学 科	旧（2025年度入学者選抜 （2024年度実施））	新（2026年度入学者選抜 （2025年度実施）以降）
【経済情報学部 経済情報学科】	<p>次に掲げる資格を取得している者に対し、その証明書を出願書類とともに提出することを条件として加点します。</p> <p>【加点の対象となる資格】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CEFR（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠）対照表（資料1）において「B1」以上の者 ・ITパスポート、基本情報技術者およびその上位資格取得者 ・全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 1級（ビジネス情報部門、プログラミング部門のどちらか一方で可）取得者 ・日商簿記検定試験 3級以上取得者 ・全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定 1級（全科目合格）取得者 ・全国経理教育協会 簿記能力検定試験 1級以上（全科目合格）取得者 	<p>次に掲げる資格を取得している者に対し、その証明書を出願書類とともに提出することを条件として加点します。</p> <p>加点方法は「取得した資格の分野の種類（英語、簿記、情報、数学）1つにつき、5点を加点（最大で4分野取得により20点加点）」します。また、「高難度資格」のいずれかを取得している場合は、さらに5点を加点します。高難度資格を複数分野で取得していても、「高難度資格」による加点は5点のみです。</p> <p>【加点の対象となる資格】</p> <p><英語></p> <ul style="list-style-type: none"> ・CEFR（Common European Framework of Reference for Languages: Learning, teaching, assessment: 外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠）対照表（資料1）において「B1」以上 <p><簿記></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日商簿記検定試験 3級以上 ・全国商業高等学校協会主催 簿記実務検定 1級（全科目合格） ・全国経理教育協会 簿記能力検定試験 1級以上（全科目合格） <p><情報></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ITパスポート、基本情報技術者及びその上位資格 ・全国商業高等学校協会主催 情報処理検定試験 1級（ビジネス情報部門、プログラミング部門のどちらか一方で可） <p><数学></p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本数学検定協会主催 実用数学技能検定 2級以上 <p>【高難度資格】</p> <p><英語> CEFR 「B2」以上</p> <p><簿記> 日商簿記検定試験 2級以上</p> <p><情報> 基本情報技術者及びその上位資格</p> <p><数学> 実用数学技能検定 準1級以上</p>